

消防本部からのお知らせ

〈消防本部予防・保安グループ 423255〉

住宅用火災警報器の点検を！

住宅用火災警報器が適切に機能するためには維持管理が重要です。

「いざ」というときにきちんと働くよう、日ごろから点検をおこなしましょう。

■定期的な作動試験をしましょう

▽点検ボタンを押す、点検ひもを引っ張るなどして作動するか確認しましょう。

※電池式は電池が切れると作動しなくなりますので、ご注意ください。

■定期的にお手入れをしましょう

▽住宅用火災警報器はホコリが入ると誤作動を起こす場合がありますので、定期的な清掃しましょう。

※機種によって清掃方法が異なりますので、清掃の際には必ず取扱説明書をご確認ください。

ださい。



■交換時期の確認

▽住宅用火災警報器は10年を目安に交換するようにしましょう。交換時期の目安となるよう設置年月日を記入するシールが貼ってあるものや音声で交換時期を知らせるものがあるので、取扱説明書で確認しておきましょう。

仏壇などで使用するロウソクに注意を！

これからのお盆の時期、ロウソクや線香を使用する機会が多くなります。使用については次の点に注意しましょう。

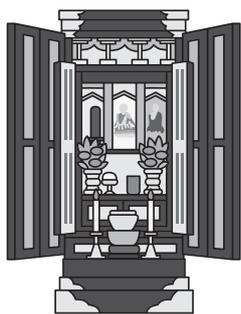
▽窓の開放や扇風機使用時にロウソクや線香に火をつけると、風の影響で倒れて周囲の物に着火することもありますので、周囲の状況を確認してから行いましょう。

▽マッチを使用する際はじゅうぶん注意しましょう。使用したマッチを床に落とし、火災が起きた事例があります。

▽ロウソク使用中は仏壇の中のものを取らないようにしましょう。袖に火がついてヤケドをした事例があります。

▽ロウソク立てにサイズの合わないロウソクを取り付けると、使用中にロウソクが割れて、倒れることがありますので、必ずサイズの合ったものを使用しましょう。

▽ロウソクに火を着けたままその場を離れないようにしましょう。



花火や使い捨てライターの正しいごみ処理にご協力を

▼花火 未使用・使用済みのものを問わず、必ず一度水に浸してから「燃やせるごみ」として処理してください。

▼使い捨てライター 中身を使い切るか、ガス抜きを行い、発火の危険性がない状態にして、「危険ごみ」として処理してください。

※花火や使い捨てライターを

大量に処理する場合は、必ず環境交通グループ（市役所1階 423217）までご相談ください。



8月11日は「山の日」です



今年から8月11日は、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日」として、国民の祝日「山の日」となりました。

これからの時期は、夏休みを利用して登山をされる方が多くなります。

ふもとには夏の暑さが訪れています。山頂付近では夏でも気温が10度以下に下がる

ことがあります。「日ごろよく登っている山だから大丈夫」「遭難するはずがない」等の気の緩みが、道に迷ったり、ケガをして行動不能になるなどの遭難事故につながる場合があります。登山をされる場合は、気象や地形などをじっくり事前に調べ、万全な準備をし、遭難事故を起こさないよう注意しましょう。

こんにちは！

税務グループ

高桑

涼

です！



4月1日付けで市民課税務グループに勤務しています滝川市出身の高桑涼です。

今年の3月に滝川西高等学校を卒業しました。

石井吉三郎さん 少年補導榮譽銅章受賞

長年にわたって、少年の非行防止や健全育成に貢献された石井吉三郎さん（文珠）に全国少年警察ボランティア協会より少年補導榮譽銅章が贈られました。

石井さんは、昭和49年から少年補導員として、市内パトロールや街頭補導指導など各種活動に積極的に参加されてきました。現在はこれまでの

経験を活かし、赤歌警察署少年補導員連絡協議会の会長として活躍されています。7月8日、赤歌警察署にて表彰状が伝達され、表彰を受けた石井さんは「このような表彰をいただきとても光栄です。これからも子どもたちの健全な成長のため尽力していきます。」とお話しされました。



▲表彰状を伝達された石井さん(左)

ツクスしています。

また、体を動かすことも好きなので1週間に4日ほど、テニスやミニバレー、野球で汗を流しています。小学生の時にかもい岳スキー場に通っていた事があるので、今年の冬はスキーも楽しみたいと思っています。

まだまだ至らない点がたくさんありますが、1日も早く皆さんに顔を覚えてもらい、信頼される職員になれるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。

非課税世帯の方へ

水道・下水道福祉料金の

手続きはお済みですか

本市の独自の取り組みとして、水道・下水道料金の福祉料金制度があります。現在「家事用」のご家庭で、世帯全員が非課税の場合、申請により（代理人、または郵送でも提出できます。）審査の上、「福祉用」の対象となります。

対象となる世帯

本年度分の市民税非課税世帯で次の①から④に該当する世帯です。

- ① 生活保護世帯
- ② 母子世帯 母子家庭のうち、次のいずれかに該当する子を扶養し、母親の収入で生計を維持する世帯
 - (ア) 満20歳未満の子
 - (イ) 1・2級の身体障害者手帳の交付を受けている子
 - (ウ) 判定がAの療育手帳の交付を受けている子
- (エ) 1級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている子
- ③ 老人世帯 70歳以上の老人

申請に必要なもの

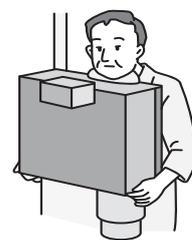
- ④ 重度身体障がい者世帯 1・2級の身体障害者手帳の交付を受けている方の収入で、生計を維持している世帯
 - ▽印鑑
 - ▽母子世帯で(イ)・(ウ)・(エ)に該当する場合 その証明となるもののコピー・ひとり親家庭等医療費受給者証
 - ▽老人世帯 健康保険証等年齢の確認ができるもの
 - ▽重度身体障がい者世帯 身体障害者手帳
- ※すでに「福祉用」の世帯は、更新等の手続きは不要です。
- ▼問い合わせ 土木建築グループ（市役所2階 ☎4252223・2225）

胃がん・肺がん・大腸がん ～検診で早期発見！早期治療！～

日本人の2人に1人が生涯のうちにがんにかかるといわれています。がんはほとんど無症状で進行するので、早期発見には定期的に検診を受けることが欠かせません。現在は医療の進歩により、がんを早期に発見し適切な治療を受ければ完治も可能になってきました。健康だと思っているときこそ、自分のため家族のためにがん検診を受けましょう。

■検診日程・会場等

検診種別	検診月日	会場	受付時間	対象者
胃がん検診	9月24日(土)	市民体育館	① 6:00～6:10	市内に住所を有する40歳以上の男女
肺がん検診			② 6:30～6:40	
大腸がん検診			③ 7:00～7:15	
	うたみん		④ 9:00～9:10	
			⑤ 9:30～9:40	
			⑥ 10:00～10:10	
			⑦ 10:30～10:40	



■検診の内容・料金等

検診種別	検査内容	検査料金		
		一般	非課税世帯 (※1)	生活保護世帯 (※2)
胃がん検診	胃バリウム検査	1,600円	500円	無料
肺がん検診	胸部レントゲン検査	500円	200円	
	たん 痰の検査(たばこを吸う方等への追加検査)	900円	200円	
大腸がん検診	便潜血検査	800円	200円	

※1・2 該当の方は申込時にお知らせください。

※2 検診当日、受け付けで生活保護手帳または受給票を提示していただくことがあります。

■胃・肺・大腸がん検診無料クーポン券対象者

下表の対象年齢となる方は、4月に郵送しているクーポン券を提出した場合、各がん検診料が無料になります。ぜひこの機会に検診を受けましょう。

対象年齢	生年月日
40歳	昭和50年4月2日～昭和51年4月1日
45歳	昭和45年4月2日～昭和46年4月1日
50歳	昭和40年4月2日～昭和41年4月1日
55歳	昭和35年4月2日～昭和36年4月1日
60歳	昭和30年4月2日～昭和31年4月1日

市内医療機関で大腸がん 検診が受けられます！

9月のがん検診を受けられない方は、ぜひご利用ください

- ▶実施医療機関
歌志内市立病院・勤医協神威診療所
- ▶実施期間
7月1日(金)～平成29年2月28日(火)
- ▶申し込み先
保健予防グループまたは、各医療機関
- ▶申し込み締め切り
平成29年2月17日(金)

申し込みは、8月31日(水)までに保健予防グループ(市役所2階 ☎42～3213)へ

Let's 健康！ あなたの健康を応援します

平成28年度は、4月号から9月号までがん検診についてお知らせします。
今回は、胃がん検診についてです。

★胃がんはどんな病気？

特徴1. 日本人に最も多いがん

がんのうち、胃がんと診断される人の数は男女計で1位であり日本人が最も多いがんです。がんで亡くなる人の数は男女計で3位であり、かかりやすいが治りやすいがんでもあります。

胃がんは、40歳代後半から増加しはじめ、高齢になるほど多くなります。胃がんになる確率は、女性では約18人に1人ですが、男性では約9人に1人と男性に多く、男性は特に注意が必要です。

特徴2. 胃がんの発生の主な要因は、ピロリ菌（ヘリコバクターピロリ）の持続感染や生活習慣

■2011年の罹患数順位

	1位	2位	3位
男性	胃	前立腺	肺
女性	乳房	大腸	胃
男女計	胃	大腸	肺

(全国推計値)

■2014年の死亡数順位

	1位	2位	3位
男性	肺	胃	大腸
女性	大腸	肺	胃
男女計	肺	大腸	胃

	要 因	説 明
細菌感染	ピロリ菌の持続感染	ピロリ菌によって起こる慢性胃炎が長期間にわたって持続すると、胃がんの発生につながります。ピロリ菌に感染した人全員が胃がんになるわけではありませんが、胃がんになった人の9割はピロリ菌に感染しているといわれています。
生活習慣	塩分の取りすぎ	胃の中で塩分濃度が高まると粘膜がダメージを受けて胃炎が発生し、発がん物質の影響を受けやすくなります。
	野菜、果物の摂取不足	野菜・果物の抗酸化作用は、ピロリ菌などによる細胞へのダメージを抑える働きがあり、不足するとがんの要因になります。
	喫煙	喫煙によってニコチンが含まれた唾液が胃に入ること、胃の粘膜に刺激を与え、がんの要因となります。

ピロリ菌の感染に生活習慣の要因が加わることで胃がんが発生しやすくなると考えられています。

日本医師会によると、ピロリ菌の感染率は中高年で高く、50歳以上では約70%以上の方が感染しているといわれています。ピロリ菌感染の有無は、内視鏡や血液検査・尿検査等で調べることができます。くわしくは医療機関にお問い合わせください。



特徴3. 早く見つければ治る可能性が高い

がんが早期(ステージ1)に見つかった場合、5年生存率は97.3%です。しかし、早期の胃がんは症状がないことが多く、あっても胃潰瘍と症状が似ているため、気づくのが遅れてしまうことがあります。進行してから見つかった場合(ステージ4)の5年生存率は7.3%に下がるため、早期発見が大切です。

市の検診では胃×線検査を実施しています。早期に見つけるため、年に1回の検診を受けましょう。

■市で実施している胃がん検診の内容

- ・ 検査方法：胃×線検査
- ・ 検査内容：胃を膨らませる発泡剤と造影剤のバリウム(140ml)を飲んで検査を受けます。膨らんだ胃の粘膜にバリウムを付着させるために身体を仰向けやうつ伏せ、左右に回転させて撮影を行います。

※バリウムによる便秘防止のため、検診時に下剤をお渡ししています。



次回は、大腸がん検診についてです。

(問い合わせ) 保健予防グループ 市役所 2階 ☎42~3213